

【速報】 関東甲信越土を考える会 夏期研修会終了しました

2019年8月9日

8月7日(水)に関東甲信越土を考える会夏期研修会が開催されました。「北関東弾丸ツアー」と銘打った今回の研修会は、関東エリアの会員を中心に30名余りが参加し、会員の2農場(株式会社農業生産法人ワタナベ(栃木県鹿沼市)、農事組合法人元気ファーム20(群馬県前橋市))と、株式会社ロブストス様、の3カ所を視察しました。

集合場所は、(株)農業生産法人ワタナベ。現在は、中山間地域の半径10km圏内で約72haの米麦生産を行なっています。渡邊宏幸社長の概要説明後、事務所と農機倉庫、新設したライスセンターを見学しました。目標に掲げている100haを越える見込みに備え、機械・設備だけでなく従業員も雇用し、拡張を進めているそうです。

続いて、農機のカスタマイズを手がける(株)ロブストス様。高垣達郎社長に出迎えていただき、留まること無く変化し続ける"現在進行形"の工房と試作スペースを案内していただきました。(株)ロブストス様の特徴は、全国の町工場とネットワークを結んで、廃番になった農機の修復や、農機のカスタマイズで現場のニーズに応えている点です。土を考える会員からの依頼案件も交えながら、写真や動画で事例紹介していただきました。

最後は、農事組合法人元気ファーム20。米麦二毛作地帯で、1,000tの乾燥調製を担う計画で建設されたライスセンターと、飼料稲WCSや粗米サイレージに向けて導入した大型トラクターや土耕機、収穫機などを見学しました。担当者1人で50~60t/日を荷受けできる体制や、厚い信頼関係で結ばれている耕畜連携についてお話していただきました。

久しぶりの再会に、何人か集まっては機械談義や近況報告など、話し始めると止まりません(笑)。新たな役員で、初めて臨んだ今回の弾丸ツアー。不安もありましたが、終わってみれば、会員間の交流がさらに深まる有意義な研修会となりました。

次回は、10月19日(土)に長野県野辺山で、BBQを含めた研修会を予定しています。近日中にご案内しますので、ぜひご参集ください。

